

ONE BRAND

◆ONE LOVE INTERVIEW

山本耀司

[ファッションデザイナー]

vol. **43**



ONE LOVE 2013

広がる つながる みんなの想い。



ONE LOVE 2013

広がる つながる みんなの想い。



人も犬も、幸せに。そのためにできることから始めよう。
そんな思いでスタートした「ONE LOVEプロジェクト」。
目指す未来のために、寄付や啓発を行っていくプロジェクトです。
5年経った今、私たち『ONE BRAND』の思いに共感してくれる人が、たくさんいます。
もっとこうなったらいいのに、とそれぞれが心に描く犬との未来に向かって、
それぞれが今できることをはじめています。
今回は、そんないくつもの「ONE LOVE」をご紹介します。
犬への愛がいっぱい詰まった特集です。

撮影：初沢亜利／米倉裕貴／晴山順平／上野山裕二

MY ONE LOVE ACTION!
『BUHI』にて情報を発信!

自分が変わること 世界も変わっていく

『BUHI』編集長
小西秀司

「社会やシステムがちっとも変わらないと嘆くより、自分の意識を変えること。そうすれば世界も変わります」。他人を変えようとするのではなく、自分自身が変わるほうが早くて力があると、小西さんはいう。「犬が住みやすい世界、そのために僕ができるのは、雑誌を通して今までになかった犬との暮らしや接し方を提示していくこと。読者がふと目にしたページのちょっとしたワンフレーズにアッと気付く。その“気付き”が大事で、それができるのも雑誌だと思っています」

●フレンチブルドッグの専門雑誌『BUHI (オークラ出版)』編集長。豊富な写真やエッセイ、特集記事にてフレブルとの幸せな暮らしをさまざまに提案。もちろん愛犬はフレブル。『BUHI』誌面にてONE LOVEプロジェクトの情報を紹介、イベント『ONE LOVE ウォーク』協力。



MY ONE LOVE ACTION!
保護犬預かりボランティア

犬とどこへでも行ける ドイツの環境が理想です

漫画家
柴田亜美

何頭もの保護犬を新しい家族のもとへ送り出してきた柴田さん。「ドイツみたいに、犬と一緒に電車に乗ったりできるのは本当に理想です」。ドイツでは、犬は飼い主と一緒にほとんどどこへでも行ける。そんな暮らしに近づくために思うのが、学びの環境について。「子供のころから、犬や動物のことが自然と学べる環境があるといいなと思う。たとえば、ペットとの接し方やしつけの方法が分かりやすくカリキュラムに入っているとか、学校教育のなかで学べるといいですね」

●代表作に『南国少年バプワくん』など。近著に、ボランティアの体験を綴ったコミックエッセイ『ほごけん ヒトと保護犬の赤い糸さがし (竹書房)』。保護犬を含めた愛犬たちとの日常をブログに公開中。

MY ONE LOVE ACTION!
保護犬おさんぽボランティア

ボランティアの楽しさを 多くの人に知ってほしい

歌手・タレント

IMALU

個人の社会貢献活動が生活に根付いているカナダで留学経験を持つIMALUさん。「日本でももっとボランティアが身近になればいいのになって思います。楽しみながらボランティアできるような、誰でも気軽に参加できるイベントがたくさんあるといいですね。興味はあっても情報が少ないことで、具体的に何をしたらいいかわからないという人は多いと思うんです。犬たちの現状や、そのためにできること、私が行動することで、少しでも情報の発信に役立てばうれしいです」

●モデルデビューを経て、本格的な歌手活動をスタート。震災後は自主的に動物救護ボランティアに参加。ONE LOVE プロジェクトの一環で福島県の動物保護シェルターにも積極的に足を運ぶ。愛犬は2頭のウォルシュコーギーのスーとパルー。



MY ONE LOVE ACTION!
ONE LOVEサポーター

犬と家族になる楽しさを 多くの人と共有したい

保護犬飼い主

阿部敏明

「企業との橋渡し役や、著名人による呼びかけ、メディアの力は大きいと思う」。情報発信の役割として『ONE BRAND』に期待しているという阿部さん。「たとえば保護犬は不幸なイメージを持たれがちだけど、譲渡会にいる犬たちはすごく元気である。ただ単純に、犬と触れあえて楽しいから遊びに行こうよって伝えたいんです。老犬の愛しさ、雑種犬の個性、最期まで看取することで感じる絆、そういうことをもっと知ってほしい。犬と家族になれるってこんなに楽しいんですから」

●『ONE BRAND』のドネーション先の動物愛護団体「ちばわん」に保護された2頭の雑種犬、アンジェロとカプアを家族に迎える。現在はデザイナーという職業を活かして、ボランティアで譲渡会のポスターやパンフレットなどを制作。ONE LOVE プロジェクトのサポーターとして寄付・啓発を行っている。

MY ONE LOVE ACTION!
イベントONE LOVEウォーク実行委員長

かけがえのない「命」 謙虚に考えられる社会へ

NPO 法人ガイア・イニシアチブ代表理事
野中ともよ

“ペットのこゝろ”は“人の社会のこゝろ”にそのまま繋がると、野中さん。「小さき命をないがしろにする社会をそろそろ転換しないと、とんでもない国になる。綻びはあちこちにでていますよね。悲しいことです。ペットを産業でしか見ない商売根性も同じ。売れないから捨てる。とんでもない。『いのち』は、すべてが一回。人も、犬も、猫も、ミミズも。しかも、すべてが呼吸で繋がっています。みーんな違って、みーんな同じ！愛を分けよう！という輪をみんなで広げていきたい」

●ニュースキャスター、ジャーナリストとして活躍後、数々の企業役員や政府審議会委員を歴任。現在はNPO法人ガイア・イニシアチブ代表として“いのち輝く地球づくり”を目指してさまざまなプログラムを展開中。2010年よりONE LOVEウォーク実行委員長。



MY ONE LOVE ACTION!
ONE LOVEプロジェクト賛同店

個人の保護活動で コミュニティの広がりを実感

エーゼットファクトリー代表取締役社長
小野田 直

「車をキッカケにして、殺処分の問題や保護犬の存在を知ってもらえればうれしい」という小野田さんは、奥様とふたりで保護活動も行っている。「ブログで情報交換したり、同じ思いを持つ人たちと少しずつ繋がって、コミュニティが生まれました。個人の活動でも、ちょっとずつ広がっています」。愛犬や愛猫が気ままにつるぐお店には、動物好きの人がふらりと立ち寄っていくことも。「大歓迎です(笑)。まずは犬や猫と遊んでもらうところから。そこから繋がっていけるんです」

●千葉県にて自動車ディーラー『エーゼットファクトリー』を経営。ペットと過ごす車の楽しみ方を提案しながら、ONE LOVEプロジェクトの告知や、寄付を行うなどのサポート活動を続ける。



MY ONE LOVE ACTION!
ONE LOVEドネーショングッズ製作・販売

使って安心できるものを 人にも犬にも提供したい

株式会社 FLF 代表取締役社長

大野佳哉

「僕はただ、普通のものを作りたいだけ」と話す大野さん。ペット用品を扱うメーカーとして心がけているのは、安心して安全なものづくり。「口に入れるものや肌に触れるものはナチュラルで安全な製品が求められる時代ですが、そこに人と犬の区別はないと思います」。人に比べ、体が小さく皮膚の弱い犬たちは成分などの影響を受けやすいとも。「よい商品を作って、よりよい生活を支える。これはメーカーの責務ですから」。人と犬とが、使って心地よい商品を送り出したいと話す。

●中目黒にてトリミングサロン・ドッググッズのショップ「マーキュリードッグ」を運営するFLF。売り上げの一部がONE LOVEプロジェクトへの寄付に充てられる限定企画商品のほか、オリジナルONE LOVE商品の販売も行っている。



仲間たちと一緒に 行動あるのみ

TBS アナウンサー

秋沢淳子

プライベートでボランティア活動に積極的に関わっている秋沢さん。仕事柄、さまざまな動物のニュースを目にすることも多いという。「もっと動物が動物らしく暮らせればいいのと思います。“報道”はテレビやラジオを使って、多くの人に情報を知ってもらおうキッカケを作れる立場にあります。これからも、たくさんの犬好きの仲間と一緒に、より多くの人たちが知ることのできる機会を提供していきたい。たとえ砂の一粒でしかないとしても、どんどん行動していこうと思います」

●『はなまるマーケット（ニュース）』ほか、報道番組を中心に活躍。プライベートでNGOを設立し、スリランカやガーナへの海外支援を行っている。愛犬はウェルシュコーギーの日の丸。

MY ONE LOVE ACTION!
ONE LOVEプロジェクトイベント司会

一万年つづく共生関係 犬は人類のパートナー

獣医師・自然療法動物病院院長

宿南 章

「生物の歴史を振り返ると、不思議とひとつの種が単独で繁栄し続けた例はないんです。他の種と共生できる種だけが生き残ってきました。他の動植物との共生を忘れてしまえば、きっと人類も滅んでしまうでしょう」。愛情や癒しを犬から一方的に与えられるだけでなく、人も犬に愛情とケアを与え、パートナーとして大切に、と宿南先生は話す。「犬は一万年以上前から人類と共生してきた仲間です。ONE LOVEの活動が共生の大切さを考えるキッカケになってほしいですね」

●動物病院に勤務後、MRA 総合研究所に移籍。化粧品会社の研究所長を経て、株式会社エテルノを設立。医師・治療家向けにサプリメント、コスメ製品の供給を行う。予防医学を取り入れた自然療法動物病院を開設。

MY ONE LOVE ACTION!
ONE LOVE プロジェクト賛同



ONE LOVEリーダーたち、集合!

ONE BRAND主催のワークショップ「ONE LOVE ACTION!」を修了し、人と犬の幸せな未来づくりを目指して活動するONE LOVEリーダーたち。ひとりひとりが「自分にできること」を見つけて行動する、その取り組みをご紹介します。

保護犬たちの 幸せ探し

保護犬の引き取り・譲渡活動

榎添恵子

2期修了生。放棄されてしまった保護犬を引き取り、里親探しから譲渡までを個人ボランティアとして行っている。現在は一時預かりを含む10頭の犬と2頭の猫と暮らす。「羊毛フェルトで愛犬を作る教室の講師をしているので、生徒さんたちにも保護犬の話伝えてます」

トリマーである 自分ができること

ペットケアサロン

『シアン・シアン』店長

黒沼朋子

3期修了生。一時預かり先の家庭で、新しい家族を待っている保護犬たちのシャンプーやトリミングなどを行っている。ペット食育協会認定上級指導士の資格も持つ。「トリマーやフードの資格を生かしながら、自分なりにできることを深めたいですね」

家族になった 保護犬のルーク

保護犬飼い主

松崎利恵

1期修了生。同じ1期生の仲間がワークショップ修了後に立ち上げた団体「Wonderful Dogs」から保護犬のルークを引き取る。「ルークの預かりボランティアをしていたのも1期生の友人で、その預かり期間中に、たまたま友人の家に遊びに行ったことでルークと出会えました」

子どもと犬が楽しく 触れあえる場を提供

NPO法人キドックス代表理事

上山琴美

7期修了生。キドックスでは、親子に向けた、犬の接し方講座や触れあい体験会を企画。子どもと犬の交流の場を提供し、命の大切さや動物との共生について学べる機会を作っている。「ドッグトレーナーやボランティアの飼い主さんたちと一緒に、実際に犬と遊びながら学んでいます」



譲渡会やイベントで タッチケアを実施

プレイスタッチ・インストラクター

宮原真理

1期修了生。犬の行動学をベースにした、手で触れてコミュニケーションをはかる「プレイスタッチ」の指導とデモンストレーションを譲渡会で実施。犬と信頼関係を築く大切さを伝える。「仲間の主催イベントに参加したり、修了生同士でセッションできることがうれしい」

将来の夢に向かって 資格を取得中

保護犬預かりボランティア

児島栄子

1期修了生。保護犬の預かりボランティアを始めて2年。現在は5頭の犬猫と暮らしながら、愛玩動物飼養管理士の資格を取得中。「ナースの資格を持っているので、将来は、自分がケアするお年寄りの皆さんと保護犬たちが触れあえる場を作りたいんです」

ドッグマッサージで ボランティア活動

保護猫飼い主

池迫美香

7期修了生。ドッグマッサージ、ドッグヨガの資格を持つインストラクターとして、イベントに参加しながら、保護犬の現状を伝えている。「ヨガをすると人の心が優しくなるんです。犬は敏感な動物だから、飼い主さんの小さいな変化を感じ取って、犬自身も元気になるんですよ」

目指す未来に向かって、行動する思いはただひとつ。人も犬も、心からハッピーに暮らせる社会へ。そのため活動は、確実に広がっています。

「ONE LOVE ACTION!」とは、人と犬との明るい未来を目指して、自分にできることを知り、考え、行動(ACTION)を起こすキッカケ作りのためのワークショップ。単発セミナーや長期コースで犬や動物を取り巻く法律や実情、海外情報の知識も学びながら、その過程で自分のACTIONを見つけ、カタチにしていく。

特に長期コースの修了生たちは、ONE LOVEリーダーとして、ONE LOVEプロジェクトの思いを社会に広める、という役割を担った仲間たちでもある。取り組み方はいろいろだけど、同じ思いを抱え、同じ未来を目指して行動を起こした仲間たち。今回集まった7名も、NPO団体を立ち上げた人、保護犬・猫を家族に迎えた人、資格を生かしてボランティアに参加する人、それぞれが、今自分にできることを見つけ、自分のペースで、チャレンジを続けている。「志を同じくして集まったメンバーなので、情報交換をしながら自分も頑張ろうと励まされる」「みんな立場が違うから、自分とは違う視点を知ることができると、定期的に行われる交流会も有意義な時間になっているよう。互いの活動をサポートしあい、コラボレーションを楽しむことができるのも、仲間がいるからこそ。」

「ONE LOVE ACTION!」とは、人と犬との明るい未来を目指して、自分にできることを知り、考え、行動(ACTION)を起こすキッカケ作りのためのワークショップ。単発セミナーや長期コースで犬や動物を取り巻く法律や実情、海外情報の知識も学びながら、その過程で自分のACTIONを見つけ、カタチにしていく。

大きく広がっています
未来への、思いと活動

人と犬をハッピーにする6つのこと

人と犬との暮らしをもっと楽しくするために大切なのは、私たちを取り巻く医・食・住・育・遊・生のこと。
『ONE BRAND』では、殺処分を減らして犬を救う「ONE LOVEプロジェクト」に加え、人も犬もハッピーに、暮らしをより豊かにする6つの情報を発信していきます。



カユイのは、いやだよ

医

日々のケアで病気の予防を

愛犬の健康を守ってあげられるのは飼い主だけ。日々の小さなケアこそ、最大の病気予防につながるのだから、日ごろから動物病院へ通う習慣をつけておきたいもの。4大予防や定期的な健康診断の大切さ、マイクロチップの装着やペット保険への加入も広めていきます。



ゴハンだいすき♡

食

「食」を楽しく健やかに

犬にとって楽しい食事の時間。フードもおやつも、選択肢が増えているからこそ、自分なりにベストと思えるものを愛犬に選んであげたい。そのためには、食べ物について正しい知識を学ぶこと。年齢、アレルギー、健康状態をよく知って、栄養バランスを意識した食生活を。

住

人も犬も居心地よく

人にとっても、犬にとっても快適な住まいってどういうもの？ 飼い主の家族構成やライフスタイル、犬の大きさ、性格、年齢などによって、過ごしやすい環境は変わってくるはず。それぞれの家庭の暮らしに合わせた住環境を築いて、人にも犬にも心地いい暮らしを実現しよう。



あ、おかえりなさいーい

育

社会の一員として暮らしていくために

しつけやトレーニングは、犬が社会の一員として暮らしていくために必要なこと。まず、犬のことをよく知って、正しい知識を得ながら、犬と一緒に学び育っていく意識を持つこと。周囲の人たちへの心配りなど、飼い主としてのマナーやマラルも身につけておきたい。



ホラ、おめでとうでしょ！

遊

一緒に遊んで一緒に楽しむ

犬との暮らしに欠かせないのは、何といっても、遊び。犬は飼い主と一緒に遊ぶことが大好きだから、毎日の適度な散歩のほかに、広いドッグランでのかけっこや、ドライブでのお出かけなど、愛犬と一緒に楽しめるレジャーを充実させよう。遊びながらたっぷりスキンシップ！



いっぱいなでて♡

みんなシアワセ？

生

共に生きるパートナーとして

最後まで責任を持って世話をするために、自分のライフスタイルにあった犬種を選ぶことはとても大切。その手段のひとつとして保護団体から引き取ることも検討してみよう。共に生きるパートナーとして、当たり前のように自由でハッピーな日常が続いていく。目指すのは、そんな暮らし。

ONE LOVEプロジェクトは

犬の殺処分をなくし、 人と犬との明るい未来をつくる プロジェクトです



人と犬がもっと豊かに暮らせる社会をめざしている
ONE BRANDでは、1頭でも多くの犬の命を救うために、
2008年より動物保護団体への寄付、情報発信による啓発、
保護犬の譲渡支援を行なう「ONE LOVEプロジェクト」を
実施しています。ONE LOVEプロジェクトは、
「できることから始めよう!」をモットーに、
犬を愛するみなさんに参加いただくことで、
幸せな犬たちを増やしています。



87,119

頭

保健所に收容される 犬の数

(平成 22年環境省発表)

【收容される理由】

- 捨てられた犬や迷子犬を保護
- 無責任な飼い主の飼育放棄による持ち込み
- 動物取扱業者による持ち込み

61

%

殺処分される 犬のパーセントと数

- 元の飼い主のもとに戻れなかった犬
- 動物保護団体にレスキューされなかった犬
- 新しい飼い主に譲渡されなかった犬

53,268

頭



殺処分される犬を減らすためには、
保健所に收容された犬を引き取り新しい飼い主を探している、
動物保護団体を支援していくこと。
そして、「犬を飼おう」と考えた時に
「保護犬」を選択する人を増やすために、認知を広める必要があります。

今すぐ、できることから始めませんか？

今すぐ参加できる寄付・啓発・支援



- ONE LOVEサポーター会費
- ONE LOVEグッズの売上
- 協賛企業・賛同者からの寄付金から毎月、動物保護団体に寄付しています。



ONE LOVEプロジェクト事務局



動物保護団体
12団体
(2012年12月現在)

ONE LOVE
プロジェクト
啓発活動費

ONE LOVE プロジェクトでは、一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体に、長期にわたり定期的に行える寄付支援をしています。

誰でもできる 月1,000円からのサポート

～ ONE LOVEサポーター～

保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や、犬たちが置かれた現状をより多くの方々へ啓発していく活動を支援して下さる「ONE LOVEサポーター」を募集しています。あなたもできることから始めませんか？

●サポーターには・・・

- ①『ONE BRAND』マガジンを奇数月にお届け
- ②サポーター会報誌を偶数月にお届け
- ③ONE LOVE会員カードの発行
- ④ONE LOVEメールマガジン配信



ONE LOVEサポーターへのお申し込み、お問合せ

<http://www.onelove.cc>

☎03-5575-2363

※サポーター会費は1,000円から金額を選べます。
※現会員も金額の変更ができます。



携帯はこちら

お買い物でも サポートできます！

ONE BRAND Shopping (WEB) 内の全ての商品は、売上の一部が動物保護団体への寄付になります。

1頭でも多くの犬たちを救うために、楽しいショッピングは、ぜひONE BRAND Shoppingで！



迷子札

<http://www.obshopping.jp/>

☎03-5575-2363 10:00～17:00(土日、祝日を除く)



携帯はこちら

ONE LOVEプロジェクト 寄付先団体 (50音順)

※2012年12月末
現在

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西)
<http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー
<http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま
<http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん
<http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて
<http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター)
<http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会
<http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ)
<http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ)
保健所の犬・猫を救う会
<http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会
<http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会
<http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs
<http://www.wonderful-dogs.com/>

4,653,518円

(2012年1月～11月)

これまでの寄付金総額

27,049,937円

(2008年4月22日～2012年11月末現在の累計)

寄付金の詳細については、ONE LOVEサイト内「寄付金の報告 donations report」をご覧ください。

<http://www.onelove.cc/>

← ONE LOVEプロジェクトで
取り組む啓発、支援とは？



犬を飼っている人には終生飼育を、飼う前の人には保護犬という選択肢を知ってもらうため、マガジン『ONE BRAND』や、ONE LOVE プロジェクトWEB運営を通して情報を伝えています。また、各界の著名人100名以上が活動の主旨に賛同し、メッセージを発信しています。



ONE BRAND (全国18万部)



ONE LOVE プロジェクト WEB <http://www.onelove.cc>



100名以上の著名な ONE LOVE 賛同者



幸せに暮らせるよう、ライフスタイルに合う保護犬を選んでもらうマッチングWEBサイトを運営。サイト内には約40の動物保護団体が登録をし、これまでに400頭以上の保護犬が新しい飼い主と出会いました。またイベントなどの出会いの場もつくっています。



HOGO 犬 ONE マッチング (ほごわん) <http://hogo-one.jp>



イベント ONE LOVE ウォーク in TOKYO 2012

ONE BRAND vol. **43**